

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
クリティカルケア看護学実習Ⅳ(統合実習)	2	前期	4	実習 180時間
担当教員	松本幸枝、中島洋一、路璐、飯塚裕美、酒井武志			
授業概要	クリティカルケア看護学特論Ⅰ～Ⅳ、クリティカルケア看護学演習Ⅰ～Ⅲの学修をもとに、急性・重症患者専門看護師の役割と機能を学習し、高度実践専門看護師としての役割を理解し、実践する。			
到達目標	関心領域において複雑で対応困難な問題を持つクリティカル状況下にある対象者とその家族の包括的アセスメント、直接的支援、他職種との連携、病棟看護師へのコンサルテーションおよび教育活動、臨床看護師への研究指導などを実践し、高度実践看護師として活動するための実践力を育成する。また、実施した活動を内省し、急性・重症患者看護専門看護師として活躍する上での課題を探求する。			
履修条件	クリティカルケア看護学特論Ⅰ～Ⅳ・クリティカルケア看護学演習Ⅰ～Ⅲを修得していること。			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複雑で対応困難な問題を持つクリティカル状況下にある対象者とその家族への直接的支援2事例(2週間)</li> <li>2. 急性・重症患者看護専門看護師としての役割実践(2週間) <ol style="list-style-type: none"> <li>1)病棟看護師に対するコンサルテーション</li> <li>2)対象者と家族が抱える倫理的課題の調整</li> <li>3)臨床看護師への研究指導</li> <li>4)多職種との連携や調整</li> <li>5)病棟の看護の質向上を目指した学習会の企画と実施</li> <li>6)チーム医療を推進するためのコーディネーション</li> </ol> </li> <li>3. 実習終了時、急性・重症患者看護専門看護師とカンファレンスを実施し、ディスカッションの中で急性・重症患者看護専門看護師として活躍する上での課題を探求する。</li> </ol>			
教科書	特に指定しない。			
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ann B. Hamric/中村美鈴ほか監修(2017)高度実践看護統合的アプローチ、ヘルス出版</li> <li>・Edgar H. Schein/稲葉元吉訳(2018)：Process Consultation Revisited Buiding the Helping Relationship/プロセスコンサルテーション第16版、白桃書房</li> </ul>			
評価方法・基準	討議への参加度(20%)レポート(80%)とし、総合的に評価する。			
事前・事後学習	<p>事前学習：実習前に提示された資料を読んでおく。</p> <p>事後学習：実習の後関連した文献等を含め、実践を振り返り考察する。</p>			
備考	<p>実習場所：亀田総合病院</p> <p>実習期間：2024年6月～8月の間の4週間(5日/週×4週間)</p>			